

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 青藍会 はあとキッズ   新山口		公表日		2026年 4月 1日		
		チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
			7	0	7	0		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・利用定員に対してちょうどよい広さがある。 ・広く見渡せる。	・個別ブースがあると、子どもの特性に合わせた支援がより充実すると思う。 ・個室がないことでパニックの対応が少しづらい。 ・活発に遊ぶ児童のテンションが上がってきたときに、静かに過ごしたい利用者への工夫が必要。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・非常勤やアルバイトの職員も配置している。 ・人数が増えて、日によってばらつきはあるものの、トータルでみるとよい。	・学校送迎に行くとき見守りの人数が少ないことがある。カバーできる人員がいると安心。 ・日によっては、職員数に対して児童数が多く、見守り不足がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・車椅子の児童に対応できるよう、トイレやフロアのバリアフリー化がなされている。 ・学習や制作をする場所と動ける場所が確保されている。 ・ホワイトボードや机の配置でエリアを分けている。	・一人になりたいときやクールダウン、集中したいときの空間があるとよい。 ・トイレが一つしかない。外出前など時間がかかっている。 ・オープンすぎて脱走の危険やパニックの対応で難しさが多くある。脱出防止の工夫が必要。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・掃除を行い、清潔を保っている。 ・各自のしたいことができるスペースがある。	・個室がないため、区切られた空間が必要だと思う。カーテンでしきっているが、音は聞こえている。 ・汗やクッキングなどのおい対策が必要		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	・簡易的な個別ブースを作り、児童が状況に合わせて使用している。 ・児童が一人になりたいときに、視線がさえぎられる場所が少しある。	・静かに過ごしたい児童が居られる場所が少ない。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・月間の流れや活動の計画・反省を定期的に行っている。 ・反省をふまえた計画の立案ができている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者からの意見を周知し、必要な対応策を図っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的な話し合いの場で意見をあげ、協議している。 ・月始めに先月の振り返りをして、改善点を話し合っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	無回答1 ・指摘を受けたことは改善を図っている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的な研修を行っている。 ・毎月の研修会で必要なことが学べている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・作成にあたっては、職員間で内容を検討している。	・公表されているが、あまり周知されていないように思う。広く声かけが必要。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・個々の状況に適した計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・作成については、各職員から情報を集め作成している。 ・内容についても共通理解を図っている。 ・計画案を職員全員が目を通して内容を検討できている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・共有されている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	無回答1 ・日々の様子などを記録として残している。 ・日々の関わりから得た情報を共有し、児童の状況理解を図っている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・各項目において必要な支援が作成されている。 ・項目ごとに具体的な支援内容が計画されており、個人に応じた内容になっている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月の案を作成する際に職員間で意見を出し合っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・レクリエーションは同じ内容にならないようにルールを変えなど工夫している。 ・日々の活動は、その日のリーダーが流れを作って固定化しないようにしている。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・計画には、集団活動と個別活動を組み合わせで作成している。 ・毎日の活動にどちらも設定しているが、集団が苦手な児童には、個別に対応を図っている。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・当日の流れや活動内容については、その日のリーダーを中心に共有している。 ・全員が法人のケータイをもち、事業所のラインで情報を共有している。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・児童の気づき等を職員間で共有している。 ・終了後ではないが、次の日に内容を共有している。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・その日の様子や活動内容を記録として残している。			

関係機関や保護者との連携	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・計画→評価→再計画を行っている。状況が変わればその都度見直しを図る。 ・半年に一度モニタリングを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・必要な連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・情報共有の会議が設けられている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・入学後に送迎時などに情報共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		・法人内にあるが、地域ではそのような機会は無い。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・あまりなかった。無理して交流しなくてもよい、という保護者の意見もある。感染等の状況を見て検討したい。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に伝えあっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・保護者会を開いて情報提供をしている。 ・講演会などの情報はプリントなどでお知らせしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・見学時や契約時に丁寧に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談等で意向を確認している。 ・相談支援員からも情報を得ている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・直接会って説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・相談があれば、面談や送迎時に話したり、後日連絡等をしたり支援している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者会を開催したが、出席者が少なかったがゆえに意見を言いやすく、交流できた。	・今年度は、マルシェに参加することがきょうだい同士の交流する機会になったが、参加者が少なかった。親子行事を開催した方が子どもどうしの交流になる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・おたよりを作成・発行している。 ・Instagramも活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・決められた場所に保管している。 ・写真等の掲載については、事前に保護者の同意をもらっている。 ・職員は守秘義務に関する誓約書を提出している	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・個々の状況に合わせて工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・マルシェの開催により、地域の方々との交流ができた。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・定例研修で取り上げて、各訓練を実施している。 ・児童の活動として、避難訓練を実施し、避難経路の確認や消火器の使い方を練習した。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	無回答1 ・定期的に児童も訓練に参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・保護者から服薬の状況が伝えられ、変わったときにも連絡がある。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	無回答1 ・現在食物アレルギーの児童は利用していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・毎月安全に関する会議を設けている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	無回答1 ・緊急連絡先を提出してもらっている。 ・避難する場所を知らせている。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・事業所、委員会において、対策を検討している。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修会を定期的に必ずひらいている。また、気になることはすぐに報告できる体制である。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・定期的に状況の確認を行い、身体拘束の必要性について検討している。行う場合は、計画書に記載し、保護者に説明し、了解を得ている。	
----	--	---	---	---	--